

「快報 風険消息」は、中国に拠点をお持ちの企業の皆様にお届けするリスク情報誌「中国風険消息」の速報版です。

2019年4月1日

<工場爆発事故多発> 職場の緊急点検をお願いします!!

工場の爆発事故が頻発

3月21日に江蘇省塩城市の化学工場で大規模な爆発があったばかりだが、時を置かずして山東省、江蘇省昆山市でも極めて深刻な爆発事故が発生した。

3月29日

午後9:35頃、山東省青州市のパールライト製造工場で爆発事故が発生し、5人が死亡、3人が軽傷を負った。同工場は保温材料として用いる真珠岩(パールライト)を生産する民営企業である。事故原因はガス漏れと推測されるが、なお調査中である。

3月31日

午前7:12頃、江蘇省昆山市の金属加工工場にて、屋外に保管していた金属くずのコンテナが爆発して工場建屋にも引火、7人が死亡、1人が重傷、4人が軽傷を負った。重傷者は22歳の女性で、全身に大火傷を負って蘇州市内の病院に入院中である。消防当局は事故原因の調査を進めている。

報道によると以下のような情報が取りざたされている。:

- 当該企業は、60年以上の歴史を有する台湾系企業により2004年に設立され、主にマグネシウムやアルミニウム合金等の軽金属の加工製造を行っている。同社の従業員によると、爆発したコンテナの中にはマグネシウム廃棄物が入っていたとされ、摩擦や温度変化によって爆発した可能性がある。
- 当該企業は、水質汚染の防止管理制度に違反したとして、2018年5月に環境当局より10万円の罰金処分を受けていた。
- 同社の経営者、事故関係者らは現在、公安当局で取り調べを受けている。

当局による監視の強化

3月21日に江蘇省塩城市において、70名を超える死者を出した爆発事故以降、全国各省・市の应急管理部門で安全生産工作会議が相前後して実施され、今後各地の製造業(特に危険化学品を取り扱う工場)に対する大掛かりな安全監査が重点的に集中される見通しである。例えば、江蘇省蘇州市の应急管理部門は3/24、マスコミに対して危険化学品を取り扱う事業者に対して全面的な安全監査を実施する旨の通知を公表した。3/23、3/26には同じく江蘇省の昆山市政府が、市内の5つの化学工場に立ち入り監査を実施している。

この監査には市の応急管理局、環境保護局、市場監管局、電力部門の管理者や実務者、化学工業の専門家が同行した。今のところ、政府部門の関心の多くは危険化学品事業者にあるが、その他の製造業者も安全に対する意識をおろそかにしてはならない。こういった事故はあらゆる業種で発生するリスクがあり、世間の注目が集まっている中、ひとたび重大事故を起こした場合に被る財産や利益の損害は計り知れない。それだけでなく、安全当局や世論から厳しい制裁を受けて企業イメージを大きく損なうことにもつながる。業種にかかわらず、今一度「安全第一」の意識を徹底いただきたい。

工場の安全点検チェックリスト

各工場においては、個々の事業所の生産特性に合わせて、リスク対策のチェックリストを整備し、徹底したセルフチェックを行うことが求められる。以下に、弊社が実施する工場リスク調査において、よく見られる不備事項を列挙したチェックリストを示すので、各事業所における緊急点検に活用いただきたい。（同チェックリストを参考に、各事業所の特性を踏まえたチェックを実施していただきたい。）

		チェック項目
消防設備	<input type="checkbox"/>	火災報知器、スプリンクラー、ガス漏れ探知機の定期点検は実施されているか。
	<input type="checkbox"/>	各所に配置する消火器の種類は適切か。消火器の数量やメンテナンス状況は適切か。
	<input type="checkbox"/>	消防用の給水設備は正しく機能するか。
	<input type="checkbox"/>	非常口や避難経路の表示はわかりやすいか。
危険化学品	<input type="checkbox"/>	防火のための区画形成や、延焼防止のための建屋間の距離の確保ができていないか。
	<input type="checkbox"/>	危険化学品に属する原材料、半製品、製品の有無を把握しているか。 危険化学品の隔離、漏洩防止、静電気防止措置は適切か。
	<input type="checkbox"/>	可燃性ガスのボンベの保管方法は適切か。
	<input type="checkbox"/>	火災爆発の危険がある場所の電気系統（電気設備や照明、配線を含む）には、防火・防爆措置が実施されているか。
	<input type="checkbox"/>	作業場所の可燃性ガス（蒸気）、粉塵の濃度は基準を超過していないか。換気は適切に実施されているか。適切な検知器が備わっているか。
	<input type="checkbox"/>	有機溶剤や可燃性金属を含む廃棄物は安全に保管し、業者が定期的に回収しているか。
電気設備	<input type="checkbox"/>	電気系の機械・設備には、安全装置が備わっているか。
	<input type="checkbox"/>	火災爆発危険のある設備に対して、延焼や二次被害軽減の予防措置を講じているか。
	<input type="checkbox"/>	電気系統に対して、アースを設置しているか。
	<input type="checkbox"/>	動力源となる機器や計器の表示は正常か。
	<input type="checkbox"/>	高温設備に油漏れは生じていないか。高温設備のまわりに可燃物を放置していないか。

	<input type="checkbox"/>	想定可能な異常事態に対する応急対応策を検討しているか。(設備の減圧等)
	<input type="checkbox"/>	電気配線は外力で変形したり絶縁層が破損していないか。配線が絡まったり引っ張られていないか。
	<input type="checkbox"/>	熱源や表面が高温となる設備に対して、適切な安全対策を講じているか。
	<input type="checkbox"/>	変配電設備、可燃性ガス、液体保管庫等に避雷針を適切に設置しているか。
	<input type="checkbox"/>	動力設備に対して、適切な安全対策を講じているか。
安全管理	<input type="checkbox"/>	関連する法規定に則って、専任もしくは兼任の安全管理担当員を配置しているか。
	<input type="checkbox"/>	各種安全管理制度、安全技術規程を整備しているか。
	<input type="checkbox"/>	生産工程における標準作業ルールは整備されているか。標準作業ルールに則った作業が行われているか、緊急時の応急対応ルールは整備されているか。
	<input type="checkbox"/>	「生産安全事故応急条例」に従って応急救援計画を整備し、救援隊を組織しているか。
	<input type="checkbox"/>	現場の安全巡回を行い、不安全な状態や行為に対する是正対策を講じているか。
	<input type="checkbox"/>	安全教育や緊急時対応訓練を実施しているか。

以上

執筆: インターリスク上海 コンサルティング部 シニアマネジャー 楊 奥

瑛得管理諮詢(上海)は、中国・上海に設立されたMS&ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

<お問い合わせ先>

瑛得管理諮詢(上海)有限公司 (日本語表記: インターリスク上海)
 上海市浦東新区陸家嘴環路 1000 号 恒生銀行大廈 14 楼 23 室
 TEL:+86-(0)21-6841-0611(代表)